

議会だより

題字は東脊振中3年 吉村奏風さん



表紙：あなたの1票が、町の未来を変える

Vol.75

令和7年 12月議会号

【第75号の内容】

- 議長 新年のごあいさつ ……2
- 12月定例会 ……4
- 賛否状況 ……5
- 一般質問／10人が登壇 ……6
- 議員研修報告 ……16
- 議会の主な活動・編集後記・18

一般質問ページのQRコードを読み込んでいただきますとYouTubeにて配信している一般質問の動画が閲覧できます。

「議会だより吉野ヶ里」がスマホで見られます！



議員が原稿作成・編集した
議会だよりです

【編集・発行】

佐賀県吉野ヶ里町議会

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田321-2

TEL 0952-37-0338

【印刷】ビッグサム ティー&ビー 【発行年月日】令和8年1月29日

吉野ヶ里町議会がインターネットで見られます。

吉野ヶ里町ホームページ

<http://www.town.yoshinogari.saga.jp/>にアクセスし、「吉野ヶ里町議会」「吉野ヶ里町議会会議録」をクリック!!

謹賀新年



選手が世界に挑み、数々の感動を届けてくれました。

さらに、物価高やエネルギー問題など、私たちの生活に直結する課題も浮き彫りとなり、地方自治体の役割がますます重要になっています。

こうした中、吉野ヶ里町では統合庁舎の建設が進み、令和8年7月末の完成に向けて工事が本格化しています。町の未来を形づくる大きな節目であり、議会としても責任を持って監視・提言を行ってまいります。

そして、令和8年4月12日には吉野ヶ里町議会議員選挙が行われます。町の発展を共に考え、行動する仲間として、ぜひ多くの方に立候補をご検討いただきたいと思っております。町民の声を議会に届けるのは、皆様一人ひとりの力です。本年も議員一同、町民と共に歩む議会を目指し、真摯に取り組んでまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、町民の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶といたします。

吉野ヶ里町議会議長 馬場 茂



▲消防出初式 南部隊の放水



▲消防出初式 北部隊の放水



▲二十歳の集い 三田川校区



▲二十歳の集い 東脊振校区

4月12日は、町長、町議会議員選挙投票日です。

吉野ヶ里町長選挙・吉野ヶ里町議会議員選挙が4月7日に告示され、4月12日が投開票日です。

4月12日に投票が出来ない方は期日前投票が出来ます。

今後の町の未来を決める大事な選挙となっておりますので投票をお願いします。

町の未来にあなたの1票を!



子ども病院等誘致の考えは



吉富 光三郎
議員



企画調整課長

クリニックモールの
考えがある

Q 今後のまちづくり中心地づくりについて、町全体像が見えない。統合庁舎、コミュニティセンター（以下「コミセン」）、図書館、防災食育センター等の建設はわかるが、町民が望んでいる子ども病院等の誘致等、現時点で町の構想の考えは。

A 企画調整課長 中心地づくりについては、昨年度末から地元地権者への説明会を行い土地利用計画図を作成するための同意を得て、現在は構想図案が完成しつつある状況。
計画図案が完成した後、再度地元地権者説明

会を行い、議会を含め、地元の見聞などを吸い上げていきたいと考えている。

町の考えとしては、道路・調整池・緑地公園の整備を軸として、公共施設（庁舎、コミセン、図書館、防災食育センター、保育園）のほか、クリニックモール、商業施設、スマートシティ、ホテル、レジデンス（賃貸住宅）、ミクスユース（サテライトオフィス等）、駐車場等の用地を検討している。
Q 今後、建設計画がある公共施設の算、財源について、以前出された「別表」では想

定敷地面積総計で50,600~83,600㎡、概算事業費総計で147億2千万円となっていたが、現時点での事業費等はトータルでいくらか、財源はどう考えているのか。

A 企画調整課長 別表では緑地面積が公共施設面積の10%で算定されていたために、開発基準に対して緑地面積が不足している。結果、緑地等面積は大きくなるが、公共施設自体の敷地面積は大きく変更することはないと考えている。
財源について、コミセン・図書館・防災食育センター・保育園は防衛省

補、統合中学校は文科省補助の活用を考えている。
Q 財源で、ここ5年で使える基金額は、10年で使える基金額は、

また、5年後の令和12年度末の基金残高は約84億円で、中心地づくりに充当できる基金は約71億3000万円と試算している。
その他の質問
・今後の町営住宅活用について
・町長の進退について

	機能	想定敷地面積(m ²)	概算事業費(千円)
必須機能	庁舎	7,000~9,000	2,185,000
	図書館	3,000~5,000	1,150,000
	コミュニティセンター	4,000~5,000	1,840,000
	小計	14,000~19,000	5,175,000
任意機能	健康福祉センター	4,000~16,000	2,645,000
	中学校	22,000~30,000	4,600,000
	保育園	3,000~6,000	460,000
	防災食育センター	3,000~5,000	1,610,000
小計	32,000~57,000	9,315,000	
その他	公園・広場	4,600~7,600	230,000
	総計	50,600~83,600	14,720,000

期日前投票所増設の考えは



筒井 佐干生
議員



総務課長

現状での考えはない

Q これまでの公職選挙における投票所数及び投票率はどのようになっているのか。
また、その前の選挙の投票率はどのようになっているのか。

A 総務課長 下記図1のような状況になっている。

Q 図1をみて分かるように、投票率が年々、非常に悪くなっている。また、年齢層の引き下げにより18歳からの投票が出来るようになったが、どのような状況か。
A 総務課長 投票所別、年齢別の状況は図2の状況となっている。

【図1】選挙別投票者数と投票率

選挙名	投票者数(人)	投票率(%)	前回投票率(%)	
令和4年	町長選挙	7,108	55.33	64.73
	町議会議員選挙	無投票		64.73
	県知事選挙	4,258	32.87	32.87
令和5年	県議会議員選挙	5,333	41.49	無投票
令和6年	衆議院議員選挙	7,079	54.17	57.54
令和7年	参議院議員選挙	7,870	60.26	51.01

【図2】投票所別・年代別投票率

投票会場	10歳代	20歳代	30歳代	40~50歳代	60歳以上
第一 坂本	0	45.45	72.22	74.14	71.92
第二 東脊振庁舎	40	48.79	55.16	63.08	66.58
第三 横田	41.18	46.69	55.28	61.30	68.37
第四 目達原	38.30	44.09	47.58	58.20	59.13
第五 三田川庁舎	50.70	53.23	57.83	61.31	64.03
第六 ふれあい館	51.11	49.67	55.42	62.65	65.37

Q 投票所において、年齢が上がるにつれて投票率が高くなっている。
期日前投票の現状はどのようになっているのか。

A 総務課長 令和4年県知事選挙は1938人、14.96%、令和5年県議会選挙2005人15.61%、令和6年衆議院小選挙区は3065人、23.48%、令和7年

参議院選挙は3780人、28.97%となっている。

Q 年々投票者が増加傾向にある期日前投票場の増設の考えは。

A 総務課長 これまでも何度か検討もしたが、立会人等の人員確保や施設や設備、経費など課題が多く、中央公民館のみでの実施となっている。現状での考えはない。

Q 投票来場者カードを置かれているが何枚ほど持ち帰られているのか。また特典はあるのか。

A 総務課長 持ち帰りには把握していないし、特典もない。

Q みやき町では、将来的に投票率を上げようと、親子連れで投票にいられた方に文房具をプレゼントする取り組みをされている。本町での考えは。

A 総務課長 みやき町では啓発活動と

して配布しているようだ。本町でも検討したい。

町長選挙について

Q 令和8年4月7日告示、12日投票の町長、町議会議員選挙の事前立候補説明会が1月29日に開催されるが、現職町長として進退をはっきり決断すべき時期にある。他一人が立候補すると表明されている。町長はどのように考えているのか。

A 町長 7年あまり町づくりを行ってきた。私の町づくり計画書がようやく花を咲かせようとしてきている。まだまだ努力が足りなかったと反省している。

この度の私の不徳のいたすところで、町に多大な迷惑をかけた。この責任をおおいに反省し重く受け止め、微力ではあるが次期町長選に再度挑戦し、町民に真意を問いたい。

施設建設の経費削減努力は



古川 輝英
議員



住民課長

建設工事面積の削減
外観、内装等に経費をかけない

Q 次期リサイクルセンターに約56億円と莫大な経費をかけて行われているが、最新の事業概要は。

A 住民課長 佐賀県東部環境施設組合にて、法手続き等を行い令和6年度から8年度までの3ヶ年継続事業として搬入道路を含む敷地造成工事に着手している。

施設整備は、7年4月に公告した総合評価一般競争入札について極東開発工業グループから入札書等の書類が提出され、選定委員会において審査を行った結果、落札候補者に選定、首長会において落札者となる。

Q 建設面積、総事業費、着工年度、完成年度、負担金額は。

A 住民課長 工場棟、ストックヤード棟など建築面積約5600㎡、延べ床面積約7800㎡。設計・建設工事費59億7300万円、11年度以降25年間の運営業務委託費は103億8400万円、総事業費は163億5700万円である。特定財源を除いた本町の実質的な負担額は約2億5200万円になる見込みである。

Q 施設建設に係る経費の削減努力は。

A 住民課長 ①工場棟と管理棟の合棟

により建築面積を削減。②構造は法令等を満たし、用途に応じた最も安価な方法。③建物の外観、内装に経費がかからないデザイン。④管理工



解体される脊振広域クリーンセンター

リアの不要な居室の削減等。
脊振広域クリーンセンターの今後は

Q 施設の現状と今後の計画は。

A 住民課長 センター施設は、1施設の解体事業は、焼却・粗大ごみ処理施設解体工事と最終処分場対策工事の一括発注により、令和7年度から9年度の3ヶ年継続事業で施工の予定である。7年9月に入札会を行

い「松尾・牟田特定建設共同企業体」が落札し10月に組合議会で議決を得た。解体は、12月より汚染物処理等の作業に取り掛かり、工事期間は9年9月30日までのおよそ2ヶ年である。

Q 費用負担額の内容は。

A 住民課長 条件付き一般競争入札により6億3800万円で落札され、契約を締結。

施設解体等事業費は、特定財源を除く一般財源は市町建設費負担金2億1109万3千円。

町が負担する7年度以降3ヶ年の建設負担金は5926万8千円となる。

Q 完了後の跡地の計画は。

A 住民課長 法の規定に基づき、構成団体間で協議を行うことになるが、町議会の議決を得る必要があるため未定。

県道吉野ヶ里公園線 アクセスとして整備が不可欠



多良 光英
議員



建設事業課長

道路マスタープラン策定で
道路整備を進める

Q 令和4年度に事業化された国道34号目達原歩道整備の現況は。

A 建設事業課長 延長202mの歩道設置区間、用地取得や建物補償が約8割まで進捗し家屋の解体も進み、令和9年度に着手する予定。

Q 久留米分岐の電柱信号機の移設、拡幅により県道吉野ヶ里線に右折車線の設置が可能となるので、国・県に陳情していく考えは。

A 建設事業課長 国交省では、佐賀県内の幹線道路において、10ヶ所で交差点改良があり、その内2件は町内と



R9年度の整備が待たれる目達原歩道事業

なっている。この状況で新たに国へ追加要望を行うことは難しい状況ではあるが、国への相談など検討している。

Q 庁舎を中心としたアクセス道路の整備が不可欠な県道吉野ヶ里公園線の今後の計画は。

A 建設事業課長 この県道は新庁舎の利用動線において重要な役割を担う路線と認識している。

町の中心地づくり計画の中で、町道や周辺道路の在り方の検討や新たな道路マスタープランの策定などにより道路整備計画を進めていく予定。関係機関との連携を図りながら、アクセス道路の向上に向け取り組んでいく。

Q 新庁舎の建設に伴い、通勤や役場の利用者により渋滞が心配



新庁舎の出入口予定

されるが。

A まち未来課長 中心地づくりが進捗し県道が町道吉田・下三津東線または久留米分岐まで改良されると、更なる車両の増加が予想されるため、交差点改良など周辺道路が必要と考える。

Q 県道吉野ヶ里公園線の目達原祇園社から久留米分岐までの交通緩和策は。

A 建設事業課長 朝夕を中心に渋滞が

発生していることは認識しているが、道路拡幅については一度に整備することは難しい状況である。交差点改良や信号制御の最適化に加え、34号と接続する別ルートの可能性など、県と協議し、中長期的な視点で計画的に対応していく必要がある。

町道苔野・上中杖線
今後の対策は

Q サムコ進出によって抜け道となる町道苔野・上中杖線は通学路ともなっている。拡幅等も含め今後の対策は。

A 建設事業課長 苔野・上中杖線の整備計画、下中杖地区の西側の下中杖東線の改良工事を現在進めており、将来的な交通分散につながるよう取り組み、渋滞緩和と安全・安心な交通環境の確保に努める。

政府の給食費無償化方針への受け止めは



森田 浩文 議員



学校教育課長

中学校無償化も検討したい

Q 質問 政府は2026年4月に小学校給食費の無償化を進める方針を示した。給食費の負担軽減は子育て支援の中心的施策である。しかし本町では、全児童を対象とした無償化に向けた財源確保の議論が十分に進んでいないと言え、国の制度内容によって自治体負担が大きく変動する可能性がある。

A 答弁 本町ではどのような財源確保策を検討しているのか。

Q 質問 学校教育課長 国の無償化対象は小学校に限定され、中学校給食費は自治体判断。本町の中学校給食費は年間約6万6000円に上り、家庭負担は依然重い。経済的困難を抱える世帯の増加を踏まえれば、中学校給食無償化の意義は大きい。無償化の検討は。

Q 質問 中学校給食費無償化について、本町の対応方針を問う。



ある日の学校給食

に検討する。

Q 質問 防衛省補助事業を用いた図書館・多用途コミュニティセンター及び防災食育センター建設計画。同様の事業採択を受けた北海道別海町に視察をお願いしたが、最終的には事業を一

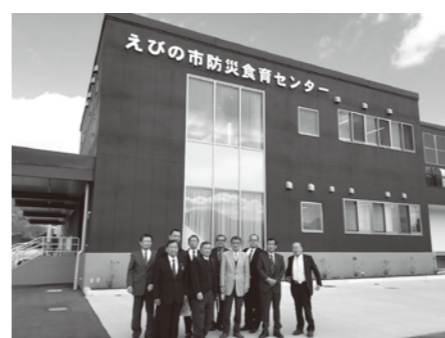


別海町を視察

A 答弁 学校教育課長 九州防衛局との協議において、「コミュニティセンター」と「給食センター」を一体施設として、また、分棟で建設した場合でも、一つの事業として防衛省補助の採択は可能である確認は取れている。

Q 質問 吉野ヶ里町の給食はクッキングセンターあり、学校給食法の適用

●その他の質問
・交付金活用体制の現状と強化策について。



えびの市防災食育センター

A 答弁 学校教育課長 本町給食が対象にならない可能性はあるのか。

高齢者の働く場づくりのための考えは



鶴 恵美子 議員



町長

組織づくりが大切
町からの財源も必要

Q 質問 働きたいが働く場所がないという高齢者の声があるが、旧シルバー人材センターを再開する考えは。

A 答弁 福祉課長 再開を予定している。

Q 質問 同じ仕組みをそのまま再開するのではなく、利用者や働き手のニーズを把握し、再構築する必要があると思うがアンケートの予定は。

A 答弁 福祉課長 今後高齢者福祉計画アンケートにて、現在の就労状況を尋ねる予定。

Q 質問 これから予定される施設等で、高齢者が無理なく従事でき、かつ、地域に貢献できる

業務を働く場として切り出せるのでは。

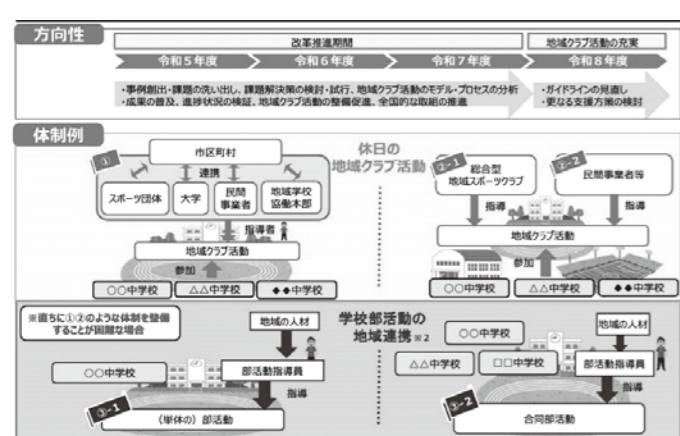
A 答弁 町長 シルバー人材センターを再開するためには組織を見直し、町からの財源も出す必要がある。

Q 質問 庁舎跡地を農水産物の生産場などに利用して働く場づくりとしても考えられるのでは。

A 答弁 町長 跡地利用については検討中。

部活動の地域移行に向けた本町の方向性は

Q 質問 国は、スポーツ基本法の改正や工程表の策定を通して、令和7年度から改革実施期間に入るが、本町でのスケ



本資料における「スポーツ」には障害者スポーツを、「中学校」には特別支援学校中学部等を含む一例である。
(スポーツ庁地域スポーツ課資料より)

Q 質問 受け皿の体制をどう構築していくのか。

A 答弁 学校教育課長 学校教員を配置し、町教育委員会全体で、部活動の地域展開を進めていきたいと考えている。

Q 質問 安全性確保のため三灯式信号機に更新できないのか。

A 答弁 総務課長 道路拡張がないと難しい。豆田橋の橋梁改良や信号機の見直しも含め、県に対してどのように働きかけているのか。



老朽化し更新できない一灯式信号機【豆田橋】

老朽化した保育園 今後の整備計画は



古川 清春 議員



町長

5年以内に新設予定

Q 町立保育園は築何年経過しているのか。

A 吉野ヶ里保育園 昭和48年6月1日開設、築52年になる。

Q 園長は、施設の現状をどのように認識しているか。

A 吉野ヶ里保育園長 10月1日より園長を拝命し2ヶ月が経過した。

年数経過による老朽化や劣化がかなり進んでいると思う。

Q 今回、補正で工事が工事内容は。

A 吉野ヶ里保育園長 一つは、調理室の

雨漏り箇所の補修工事、二つ目はトイレの洋式化の2箇所である。

Q 今回の工事内容に子ども用トイレの改修が入っていないが、今後実施する考えはないのか。

A 吉野ヶ里保育園長 今回の工事には、園児用のトイレは計画していない。

Q 今後の保育園建て替えているか。

A 吉野ヶ里保育園長 建て替えに向けて子ども・子育て会議で協議していくことについて委員の方に説明し、承諾を受けている。

子ども・子育て会議で協議していただくことについて委員の方に説明し、承諾を受けている。

Q 町長は、施設の新設について整備時期をどう考えているか。

A 町長 幼保一体型の補助を受けて5年以内に新設予定である。



改修する便器



洋式化する便器

「5つの問題」について

Q 過去3年間に於ける小中学校のいじめの状況は。

A 学校教育課長 状況は次のとおりである。

①小・中学校の過去3年間の覚知状況(件)

	R5	R6	R7
三田川小	229	279	331
東脊振小	64	92	53
三田川中	8	29	18
東脊振中	27	65	19
計	328	465	421

R7は10月末現在

②いじめとして認知した件数

	R5	R6	R7
三田川小	229	279	331
東脊振小	64	92	53
三田川中	8	25	15
東脊振中	26	65	18
計	327	461	417

R7は10月末現在

Q 覚知とは、どういう意味のことか。

A 学校教育課長 覚知とは、いじめの兆候を観察や調査、あるいは訴えによって学校が気づくことを指し、いじめとして認識するもの。

Q いじめとして認知した件数は。

A 学校教育課長 いじめとして認知した件数は、次のとおりである。

中心地道路政策について

Q 過去の質疑で道路更新を尋ねた時は、中心地の道路計画と合わせて行うという回答であった。中心地計画が進行している今こそマスタープランの更新を考える時期にきているのではないか。

A 建設事業課長 現在の道路マスタープランは平成22年3月に策定されたものであり、約15年が経過している。庁舎が移転に伴い、町の中心拠点の変化も見込まれ、町内道路計画の在り方を見直す必要があると考える。

Q 道路マスタープランの策定期間や費用は。

A 建設事業課長 策定期間としては概ね1年から1年半を要する。費用としては2000万円ほどを見込んでいます。

Q 新庁舎の出入り口の位置が交差点に近すぎて渋滞が起きる可能性が想定される。

A 企画調整課長 新庁舎の北の敷地にコミュニティセンターを計画している。現状ではコミュニティセンターと庁舎を行き来する道がないため見直しが必要である。今後国道385号からコミュニティセンターと庁舎をつなぐ道も計画したい。

学習用タブレット活用 今後の目標は



生島 信一郎 議員



教育長

子どもたちの意欲向上に繋がる活用を追求したい

Q 小中学校で1人1台の学習用タブレットが導入され、今年度機器の更新も行われた。これまでに蓄積された成果や課題をどのように捉えているか。

A 学校教育課長 1人1台端末の活用によるメリットとしては、自分のペースで学習を進められ、理解度や進捗に合わせた学習が可能になってきていること、児童生徒同士がリアルタイムで意見や考えを共有し、学びを深めること、学習記録が自動保存されいつでも振り返りが可能となるなどの効果が期待される。逆にデメリットとして

は教師によって機器に慣れるまでに差があることや教科ごとの有用性に差があること、破損した場合の修理費や機材の更新、維持管理のコストが高額なことが挙げられる。

Q ICT教育は発展途上にあるが、本町として今後の課題と目標をどう考えているか。

A 教育長 タブレット端末はあくまで授業における教材ツールの一つであるというのが前提であり、例えば即学即向に直接繋がるといったものではない。どのような活用をしたら子どもたちが「勉強してお



学習用タブレットを使い勉強をする生徒

もし「いい」と思えるような意欲付けに繋がるかを吟味しつつ活用をしていくことを追求したい。



出入り口と交差点が近すぎて出られない可能性も

県営産業用地造成事業は



木下 大学
議員



企画調整課長

令和8年度末に完了予定

Q 工場建設の着工が遅れても県営産業用地造成事業は計画通りに進むのか。

A 企画調整課長 当初の計画から1年遅れているが、途中で見直された計画の令和8年度末に完了予定。

Q 造成区画内の道路（北側道路、東西道路）は、現在の道路を使用するののか。

A 企画調整課長 現在の道路を拡幅・改良して使用。東西道路は片側一車線の両側歩道（12・5m）、北側道路は片側一車線の片側（集落側）歩道（9・5m）となる。



造成中の中央東西道路付近

Q 東西道路の東側、町道豆田橋・下中杖北線道路の改良工事は、建設事業課長 三掛け」と張り出し歩道

を設置して、延長400m、幅員2・0mの歩道を整備する。本年度より工事着工し、令和8年度の完成を予定。

Q 造成区画内の北側道路に通じる道路が通行止めになっているが、北側造成地の調整池、公園の整備はいつ頃の完成か。

A 企画調整課長 造成工事の完了に合わせて整備されるため、令和8年度末の完成予定。

Q 上中杖橋から本線道路は、坂道S字カーブで砂利道。ガードレールが短く、特に夜間は真っ暗。歩いても、特に自

車は滑りやすく、非常に危険。何か対策は。

A 建設事業課長 井柳川の管理道路であり生活道路ではない。現時点で、ガードレールの設置等の予定はない。

Q 中央の東西道路と造成地の盛り土が非常に高いが、どの程度の高低差になるのか。

A 企画調整課長 東西道路から見ると、造成地の地盤が1m程度高くなる予定。

Q 流域の北側造成地が南側より広い。流域の調整池の容量で大丈夫なのか。

A 企画調整課長 北側調整池Aの容量は開発基準に沿って計画しており、基準の約1・56倍となっている。

南側造成地が狭く、調整池Bの容量が大きくなっているが、立野工業団地（県営産業用地の東



危険な井柳川河川管理道路

側）の水路に流れる雨水を一部、調整池Bへ流し込むため大きい。

Q 調整池AからBへは、かなりの距離があるが、調整池Aからの放流はどのように流されるのか。

A 企画調整課長 オリフィスで流す水量を調整し、新設・既設水路を通して井柳川に排水する。

町内産の米の収穫高は 昨年と比べてどのような状況か



中村 裕一
議員



農林課長

耕作面積は昨年度が363ha
今年度は400ha

Q 吉野ヶ里町内の令和7年度の米の収穫量は、令和6年度と比べてどのような状況か。

A 農林課長 本町の6年度・7年度産の米の収穫量が数値データとして公表されていないので、県の平均収量・本町の耕作面積をもとに6年度産約505kg/10a、7年度産515kg/10aである。

Q 町内産の「さがびより」と「ひなたまる」の栽培比率はどのようになっているのか。

A 農林課長 町内産ではさがびよりは53,358㎡、ひなたまるは776,496㎡。

Q ひなたまるは、ふるさと納税の返礼品として検討できるか。

A 企画調整課長 ふるさと納税の返礼品として提供するために、総務省が定める地場産品基準に適合する必要がある。

Q ひなたまるは、どのような食味か。

A 農林課長 佐賀県が高温暖化対応、風に強く病害虫耐力があることを目的に開発した新品種で、今年度から作付を行っている。食味はあっさり系だ

が、甘みがあり、軽快な口当たりだ。

Q 保有米の金額が去年の約2倍になっている。今後の金額等の状況はどのようになっているのか。

A 農林課長 保有米の価格は、2024年から25年にかけて歴史的な高騰を記録しており、今後も「高止まり」または「再高騰」のリスクも指摘されている。高騰の要因として、猛暑や水害など異常気象による収穫減少、肥料・燃料・農機具など生産コストの上昇、減反政策の影響での供給力の低下、インパ

る輸入資材高騰などが考えられる。

町内産「さがびより」と「ひなたまる」の耕作面積からの栽培比率

	耕作面積 (㎡)	比率 (%)
さがびより	53,358	6.4
ひなたまる	776,496	93.6
計	829,854	100.0



佐賀県の主食用米 収穫量推移過去5年間

年度	収穫量(トン)
令和3	約109,800
令和4	約114,000
令和5	約115,700
令和6	約120,000
令和7	約122,100

※令和7年度は見込値

町内の空き家について

Q 町内の空き家の数は把握しているのか。

A 企画調整課長 町内の空き家の数は11月25日時点で150戸となっているが、年に一度の担当職員による目視及び聞き取り調査等の件数である。空き家対策計画の見直し時期となるため、来年度に空き家実態調査を行う。

Q 空き家の固定資産税等、現状はどのようなになっているのか。

A 税務課長 地方税法第349条の3の2の規定により、200㎡までは6分の1、200㎡を超える部分は3分の1とする特例措置がある。「特定空き家」「管理不全空き家」として勧告された場合は適用されない。令和7年中に「管理不全空き家」として補修・補強等の勧告をした案件が1件ある。

議会の主な活動

(2名以上で参加した行事や会議等)

- 9月
- 10月
- 11月

9月

1日	9月定例議会(～12日)
2日	決算特別委員会(～4日)
8日	議会改革特別委員会
10日	議会広報編集委員会
14日	吉野ヶ里町敬老会
18日	全員協議会
27日	さざんか園敬老会
29日	全議員研修会(～10月1日)

10月

2日	議会広報編集委員会
4日	東脊振幼稚園運動会
9日	議会広報編集委員会
16日	差別の現実に学ぶ研修会
17日	議会広報編集委員会
20日	大人としゃべり場事業(東脊振小)
23日	議会運営委員会視察研修(～21日)
30日	議会広報編集委員会視察研修(～24日)
31日	戦没者追悼式
	三田川中学校文化発表会
	東脊振中学校文化発表会

11月

1日	三田川小学校運動会
5日	議会広報研修会
8日	吉野ヶ里町文化祭(～9日)
11日	市町行政講演会
13日	国民健康保険運営協議会
14日	議会運営委員会
16日	首都圏吉野ヶ里会(～17日)
19日	全員協議会
21日	議会運営委員会
26日	地域商工交流会
27日	東部環境施設組合全協
28日	12月定例議会(～9日)
	神崎市吉野ヶ里町葬祭組合議会

首都圏吉野ヶ里情報交換会

令和7年11月16日、東京都内において首都圏在住の本町出身者及び町に
関係する近隣出身者との
情報交換会が開催され
た。

今回は総勢50名の方が

参加され、和やかに会が進んだ。

メンバーの皆様も高齢化が進んでおられるものの、毎年の参加を楽しみ
にしておられる方ばかり
で話は尽きなかった。

編集後記

明けましておめでとう
ございます。

本年二十歳の集いに参加される皆様が生産された年に吉野ヶ里町が生じ、早くも20年。
統合庁舎建設も、四階建ての姿も出来つつあります。

町民の皆様方にとって希望に満ちた、輝かしい年であることを願うものであります。

私達議員にとりまして改選期を迎えます。前回は無投票でしたが、今回は多くの方が立候補されますことを願っております。(佐千生)

- 議会広報特別委員会
- 委員長 筒井佐千生
 - 副委員長 森田 浩文
 - 委員 古川 清春
 - 生島信一郎
 - 木下 大学
 - 鶴 恵美子



町長より、まちの中心地づくり、県営産業用地事業などの近況報告等があり、参加者全員が関心を持たれていた。

自治体運営においても貴重な自主財源の確保の手段としてふるさと納税の更なる強化は必須であり、担当課も出席し、寄附をお願いしつつ、町の特産品のPRに力を入れていた。